

初めまして。鎌田隆と申します。清風中学校・高校でNIEと出会って二十余年。新聞で教えることの面白さと学習効果を実感し続けてきました。これからNIEに取り組もうという先生や保護者の方にあてて、私の経験や思いをお伝えしていきたいと思います。

最初の話題は新聞記事の比較読みです。社会科教師の私は、仕事柄よく複数の新聞に目を通します。すると時々A紙にあってB紙にないニュースがあったり、同じニュースでも扱いに軽重があったり異なるニュアンスの見出しが付いていたりすることに気づきます。

つまり、新聞各紙にそれぞれ個性があることが分かります。

それを端的に示しているのが社説で、各紙の主張、考え方がはっ



カマティー 鎌田先生のNIE事始め

きりと分かります。生徒にとっても記事の比較読みは、公平に耳を傾け、かつ主体的に判断することを学ぶ良い機会となります。グループで気づいたことを列挙して確認しあうだけでも構いません。新聞を2紙以上購読している家庭は稀ですから、学校で新聞を比較読みする機会を作ってあげたいものです。

ところで、2020年から大学入試が大きく変わります。文部科学省の中教審答申には、期待される学力に関して「主体性」「多様性」「協働性」というキーワードが出てきます。比較読みは、こうした学力を育成するためにも有効な手段だと思っています。



大阪府守口市出身、55歳。座右の銘は「世間虚仮 唯仏是真」(聖徳太子)。趣味は散歩。

新聞を読み比べよう